

報道関係各位

2011年(平成23年)12月5日

株式会社オリコム

代表取締役社長 正盛和彦

大塚製薬「ポカリスエット」の交通広告 20 駅で 52 種類の広告表現を制作、駅デジタルサイネージで実施

株式会社オリコム(本社:東京都港区、社長:正盛 和彦、資本金 1 億 6,500 万円)は、大塚製薬株式会社「ポカリスエット」の広告キャンペーンの一環としてデジタルサイネージだからこそ可能な表現で展開する交通広告を企画・制作しました。

首都圏の 20 駅に複数の鉄道会社をまたがって設置されているデジタルサイネージ媒体(駅デジタルサイネージネットワーク)の特性を最大限に活用したクリエイティブ展開を実施します。駅ごとに違うパターンのメッセージを開発し、駅利用者の「その時、その駅、その状況」に適したメッセージを見もらうことにより、ポカリスエットのブランド価値への共感を得てブランドとの絆を強めていただくことを狙う企画です。20 駅で 52 種類の広告表現を制作し、時間帯および土日と平日そして駅によって、細かく表現を変えたクリエイティブ展開です。動画にはオリジナルで録音した音声も入るなど細部にまでこだわった展開を図ります。

<20 駅で 52 種類の広告表現、大塚製薬「ポカリスエット」駅デジタルサイネージ交通広告展開の概要>

■掲出期間: 2011 年 12 月 5 日(月)~12 月 25 日(日) 3 週間

■掲出媒体: 駅デジタルサイネージネットワーク 20 駅 (JR 新宿駅、小田急新宿駅、京王新宿駅、JR 渋谷駅、東急渋谷駅、京王渋谷駅、JR 品川駅、京急品川駅、JR 池袋駅、東武池袋駅、西武池袋駅、東京メトロ表参道駅、都営六本木駅、JR 恵比寿駅、JR 東京駅、東京メトロ銀座駅、京成上野駅、東京モノレール浜松町駅、羽田空港第 1 ビル駅、羽田空港第 2 ビル駅)

※本リリースに関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

株式会社オリコム 経営企画局 大澤、北澤 TEL:03-6733-2021

写真：大塚製薬「ポカリスエット」 駅デジタルサイネージネットワークでの広告表現(例)

■渋谷駅の表現例 JR、東急、京王 計3パターン



■東京モノレール駅の表現例 モノレール浜松町駅、羽田空港第1ビル駅、羽田空港第2ビル駅

